

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民病院	管理課	内線等	1222
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	病院職員（看護職員）の採用手続事業				
根拠法令等	地方公営企業法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	4月の定期採用後、退職者補充として年度途中に勤務可能な看護師等免許資格取得者を対象に
手段	従来の広報等の募集に捉われず、公的機関に求人掲載依頼する方法により
想定する成果	中途退職者の補充として必要数の確保をすることにより、質の高い看護サービスが提供できる。

事業の概要

(人)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
応募者数	平成14年度からのため実績なし	6	-
試験合格者数	平成14年度からのため実績なし	4	-
採用者数	平成14年度からのため実績なし	4	-
看護師10/1不足数	7	8	-

成果指標

成果指標名	採用率	
成果指標の説明	看護師中途採用者数/看護師不足数	

事業の進捗状況 (病院事業会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	50.0%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費			
	人件費	10,865	10,742	10,949
	(人数)	1.3	1.3	1.3
	合計	10,865	10,742	10,949
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	10,865	10,742	10,949

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	1	1	全国的に応募者が減少傾向の状況にある。
経済効率性	2	2	事業費としては事務費のみである。
事務効率性	2	2	10月採用の場合、採用決定から採用までの日数が少ないため、手続きとして前歴確認、初任給決定等の事務が煩雑となる。
必要性	2	3	ここ数年、病院新築移転の時期に採用した看護師が年齢的に結婚、育児の時期となり、これらの理由で年度途中で退職するケースも多いため、10月採用は一定数の看護師等を確保するうえで必要性あり。
小計	7 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	7 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<p>応募者年齢の引き上げ 平成13年度まで30歳であった年齢を平成14年度から蒲郡市職員任用採用規則で定める上限の39歳まで引上げた。</p> <p>公的機関への求人登録 愛知県の外郭団体である愛知県ナースセンターに、パート看護師の募集も含め無償での掲載依頼をし、掲載された。</p>

今後改善すべき点

<p>4月の定期採用時も含め、応募者が減少傾向にあるので、年1回の試験から年2回にすることも考慮していかなければいけない。</p>

平成16年度予算に反映する項目

<p></p>

組織、人員に関する提言

<p></p>

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民病院	管理課	内線等	1224
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	院内保育所運営管理事業				
根拠法令等	地方公営企業法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	市民病院に勤務する看護師等の子供を
手段	保育することによって
想定する成果	市民病院に勤務する看護師等の確保ならびに職員の福利向上を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延総保育利用者数	3,374 人	3,247 人	3,430 人
開所日数	245 日	245 日	245 日
1日平均保育利用者数	13.8 人	13.3 人	14.0 人

成果指標

成果指標名	保育園児1人あたりに係る費用	総経費に対する一般財源比率
成果指標の説明	総経費/延保育園児人数	一般財源/総経費*100

事業の進捗状況 (病院事業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	1,583
	実績	1,466	1,493	-
成果指標	計画	-	-	66.1%
	実績	57.6%	61.7%	-
事業費	事業費	18,563	18,209	20,472
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	20,235	19,862	22,156
財源内訳	国			
	県	2,828	1,845	1,800
	市債			
	その他	5,743	5,769	5,700
	一般財源	11,664	12,248	14,656

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	施設定員30名のところ、年度末育児数19名。定員に対する充足率が低い。
経済効率性	1	1	1人あたりの保育費収入（30,000円）に対する経費の支出額が高い。
事務効率性	2	2	保育時間を午後6時までとしている。夜間保育は実施していない。
必要性	2	2	看護職の確保という観点から必要度の高い事業であるが、今後保育児童が減少すれば継続的な運営に課題がある。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	6 / 15 満点中	6 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	看護師の就労支援、看護師確保という当初の目的から院内に保育施設を設置する意義はあるが、経済性の確保と今後児童数が減少した時に施設運営を見直し改善をする必要がある。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加を図るため、入所対象者を看護職の子だけから他の職種にも拡大するよう検討した。

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・保育児1人あたりの保育費の見直し。 ・運営要綱を改正し、入所対象者の拡大を実施する。
--

平成16年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> ・県補助金は、継続される見込み

組織、人員に関する提言

<ul style="list-style-type: none"> ・施設の一括民間委託化の可能性について具体的な検討を行う。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民病院	管理課	内線等	1224
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医療用材料、消耗品在庫管理事業				
根拠法令等	地方公営企業法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	患者さんの診療・入院に必要な診療用資材を
手段	供給体制と購入の集中管理することによって
想定する成果	在庫の適正化と購入価格の低減を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
前年度繰越(千円)	3,483	3,236	2,958
購入額(千円)	484,422	468,920	495,300
払出金額(千円)	484,258	469,198	495,300
貯蔵品取扱品目数	240	250	250

成果指標

成果指標名	在庫払出回転率(年間の金額比率)
成果指標の説明	払出物品/(在庫+購入)

事業の進捗状況 (病院事業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	99.4%
	実績	99.3%	99.4%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	84,000	84,000	84,000
	人件費	18,388	18,179	18,528
	(人数)	2.2	2.2	2.2
	合計	102,388	102,179	102,528
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	102,388	102,179	102,528

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	医療業務に支障が発生しないよう、常に医療材料の適正化を確保し供給するシステムは確立している。
経済効率性	2	2	在庫品の経年変化に伴う劣化による除却処分を最小化する。
事務効率性	2	2	平成12年度は担当者3名で処理していたが、13年度から専任2名と応援1名（毎日2時間）で対応。
必要性	2	2	患者さんへの診療には不可欠な事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	診療科、病棟が必要とする診療材料を必要な時に必要量を供給する体制は、確保されている。経営コスト削減の面からも契約価格の交渉に担当職員があたっている。在庫品の劣化を極力おさえるよう「購入・在庫管理・払出」のそれぞれが、適切に監視できる事務システムをめざす。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・12年度から13年度にかけて、担当者1名を減員した。
- ・物流庫以外に直接納入、業者貸出の方法を採用した。
(貯蔵250・直納2930・貸出1867品目)

今後改善すべき点

- ・貯蔵、直納の品目ごとの使用実態の見直し
- ・直納品の在庫期間が長期化する傾向にあるため、使用の効率化と納入単位の変更を検討する。
- ・帳票、伝票、カード類の印刷物は年々増加傾向にあるので作業の手順を見直し、内部書類の簡素化を図る。
- ・SPDシステム（院内物流の一元管理、発注－在庫管理－使用状況－保険請求まで診療材料にかかるトータル管理システム）の導入について、次期医療情報システム開発時に検討する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

- ・SPDシステムを導入した場合、外部委託も考慮し、経費・業務効率など最も適正な方法で事業を行う。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民病院	管理課	内線等	1224
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医療用機器等契約発注事業		
根拠法令等	地方公営企業法		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	患者さんの診療、入院治療に必要な医療機器等を
手段	契約発注することによって
想定する成果	購入価格の低減を図り、医療機器を整備する。

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
機械品備品購入費	20,000	49,883	40,000
購入品目数	25	24	25

成果指標

成果指標名	医療収益に対する医療用機器等購入費用比率
成果指標の説明	医療用機器等購入費/医療収益(入院収益+外来収益)×100

事業の進捗状況

(病院事業会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	0.6%
	実績	0.3%	0.7%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	20,000	49,883	40,000
	人件費	3,343	3,305	3,369
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	23,343	53,188	43,369
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	23,343	53,188	43,369

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	医療機器等を契約発注することによって、医療業務に必要な医療機器を整備し医療水準の維持を図った。
経済効率性	2	2	予算内で購入できる機器の更新を図った。
事務効率性	2	2	院内において医学的知識のある者と経理を把握する者との合同組織で検討し、事務の効率を図った。
必要性	3	3	救急医療、地域中核病院としての役割を果たすため、必要な事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	限られた予算内で病院として必要な性能の良い医療機器を購入するため、委員会を開催し検討している。今後は、中長期的な計画策定をし、リースも含め検討を加える。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・高額医療機器の購入の際、機器選定・物品購入委員会にて、機器の性能、価格について十分検討している。場合によっては、関係部署を参集した別の委員会を組織し検討している。
- ・購入された高額医療機器については有効に使用されているかチェックするよう改善した。

今後改善すべき点

- ・救急医療、高度医療を提供し、地域中核病院としての役割を果たすため、病院としてどんな医療機器が有効か十分な検討がなされているが、その稼働率について十分考慮する。
- ・購入するかリースするかを価格や維持管理等の側面からの検討を加える。

平成16年度予算に反映する項目

- ・リースを選択した場合、予算科目の変更を伴う。限られた予算内で性能の良い医療機器を購入するには、中長期的な計画策定を要する。現在の医療水準を維持または向上させるためには、ある程度の投資も必要と思われる。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民病院	管理課	内線等	1224
----	------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	医業研究研修の支援事業				
根拠法令等	地方公営企業法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	市民病院の医師・看護師・医療技術員を
手段	医業研究研修の支援することによって
想定する成果	医療水準の向上を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
医師医業研究研修費	10,896 千円	8,801 千円	13,170 千円
看護師等医業研究研修費	2,731 千円	2,667 千円	2,730 千円
研修医師人数	49 人	46 人	53 人
研修看護師等人数	363 人	366 人	373 人

成果指標

成果指標名	医師1人当たりの医業研究研修費	看護師等1人当たりの医業研究研修費
成果指標の説明	医師医業研究研修費/研修医師人数	看護師等医業研究研修費/研修看護師等人数

事業の進捗状況 (病院事業会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	248.5
	実績	222.4	191.3	-
成果指標	計画	-	-	7.3
	実績	7.5	7.3	-
事業費	事業費	13,627	11,468	15,900
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	15,299	13,121	17,584
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	2,013	506	2,400
	一般財源	13,286	12,615	15,184

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	医療に直接携わる職員の資質の向上、最新情報の収集を目的としているが、成果の客観的な指標、基準が明確ではない。
経済効率性	2	2	ほぼ同規模の他の病院と比較して、経費は低減の傾向にあり、経済性は確保されている。
事務効率性	2	2	
必要性	2	3	講演会の開催、最新図書による情報収集、学会への参加など医業活動の支援には不可欠である。
小計	7 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	7 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	医療における専門性の高い職種に対する研究研修費は不可欠のものであるが、その基準が明確になっていない。研修計画や研修目標を明確にすることが今後の課題である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・ 図書の購入にあたって、外国雑誌を新規に購入する場合は、今までに購入していたものを廃止してから新規購入するように徹底した。

今後改善すべき点

- ・ 各職種の職員に対して研修意欲を向上させるべく研修内容の見直しをする。
- ・ 研修計画や研修目標を明確にする。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載